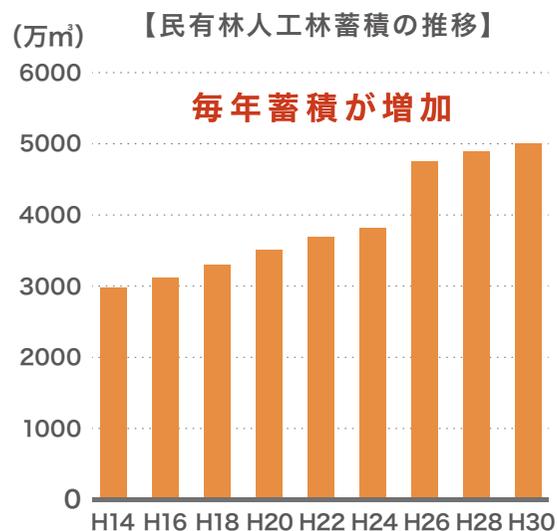


3

とつとりで育った木材の利用をおすすめします

鳥取県産材のすすめ

1 先人が私たちのために植えてくれました



■ 鳥取県は面積の74%、26万haが森林です。

この森林の半分以上が、住宅等に利用するために植えた人工林です。

人工林では年間に約70万m³木材が成長していますが、実際に伐採して使っているのは、成長量の43%、30万m³にとどまっています。

【森林資源の循環利用イメージ】



■ 「木を植えて育てて使い、また植える」という森林の循環利用を進めることで、森林は私たちの生活に欠かすことができない水や空気を育んでくれます。

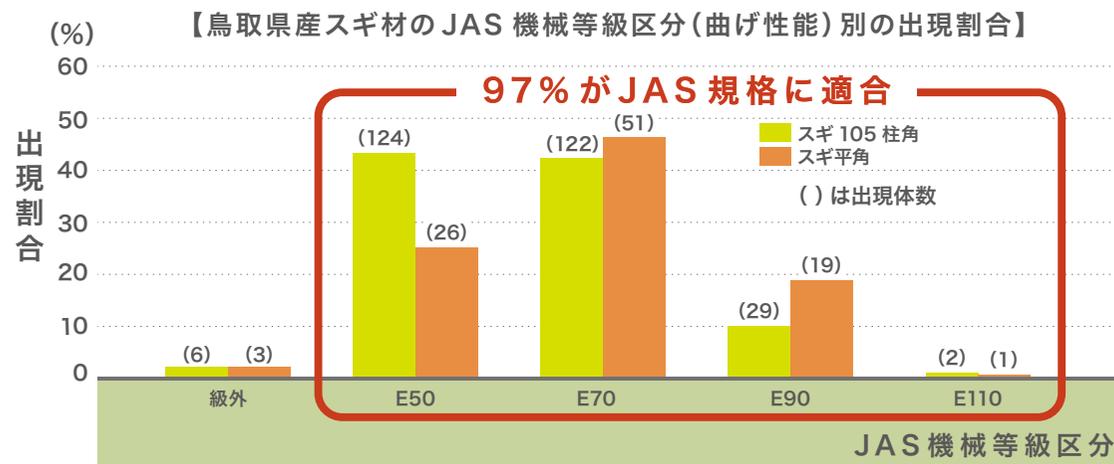
私たちが、とつとりで育った木材を利用することは、身近な自然環境を守ることになり、私たちは、快適で安心して暮らすことができます。

2 鳥取県産スギ材は使って安心の品質です

■ 平成7～12年までに鳥取県林業試験場で行った鳥取県産スギ材の強度試験(※1)の結果、スギ柱角(背割りあり・約10.5×10.5×300cm)、スギ平角(約12×21×400cm)の試験体数の97%がJAS規格(※2)に適合していました。

※1 平成12年3月鳥取県林業試験場発行「鳥取県産材の活用を目指して」県産材の強度性能(1)～住宅資材性能規定化対策事業報告書～を参照。

※2 日本農林規格等に関する法律(JAS法)で定める品質についての基準。材面の品質(節、割れ等)、含水率、曲げ性能等を規定。



3 木材は快適な暮らしを応援します(※3)

■ 木材は、空気がジメジメしているときは水分を吸い、カラッとしているときは水分をはき出すことで室内の湿度調節に役立っています。



【梅雨時期に相対湿度(※4)が80%を越えた割合】(6～7月に1時間ごとに計測)



※3 鳥取県林業試験場発行「とっとり県産材内装材利用のすすめ」より抜粋

※4 相対湿度とは、空気中に含むことができる最大限の水分量に比べてどの程度の水分を含んでいるかを示す値。